



平成 24 年 9 月 7 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ  
代 表 取 締 役 社 長 狩 野 仁 志  
( J A S D A Q ・ コ ー ド 3 8 0 7 )

問い合わせ先 :

取 締 役 管 理 部 長 長 岡 信 一 郎  
電 話 番 号 03(5774)2440 (代表)

## 株式会社ダイヤモンドエージェンシーの第三者割当増資引受け (子会社化) 及び新事業の開始に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 9 月 7 日開催の取締役会において、株式会社ダイヤモンドエージェンシー(以下「DAC」といいます。)が実施する第三者割当増資を引受け、当社の連結子会社(特定子会社)とすること、及び当社の新セグメントとして広告代理業を新たに開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 異動の理由及び事業開始の主旨

##### (1) 異動の理由

当社は平成 24 年 8 月に当社の顧客ネットワークを介して紹介を受けた DAC より事業資金支援の要請を受け、その要請に機動的に対応するため、同社が発行する私募債総額 3,000 万円を引き受けました。また同社は、財政状態を抜本的に改善するためには、第三者割当による増資が必要と判断し、当社に対し第三者割当増資の引受要請があり、当社で検討してまいりました。本日開催の取締役会にて、同社が実施する第三者割当増資を、私募債を資本に転換(デット・エクイティ・スワップ)する方法により引受けることを決議し、DAC と株式引受契約を締結いたしました。これに伴い、当社は同社の議決権の 94.9%を保有し、連結子会社化することといたしました。

##### (2) 事業開始の主旨

DAC は、市場・消費者調査、広告・販売促進のための戦略立案、メディアバイイング、クリエイティブ、WEB 企画・コンテンツ制作・運営、データベース管理等のサービスを提供する総合広告代理店事業を展開しております。しかしながら、広告業界におけるマス媒体からインターネット媒体への戦略メディアのシフトなどの影響を受け、同社の売上高は減少傾向にあり、成長に向けての新たな戦略展開を模索しておりました。そのような状況のもと、8 月に DAC からの資金供給の依頼を受け、各種調査を実施し回収可能性を充分に検討し私募債総額 3,000 万円を引き受け、さらにデューデリジェンスを実施して同社の今後の成長可能性について検討してまいりました。当社は、私募債を株式に転換することにより、DAC が株式会社ダイヤモンド社、株式会社日本経済新聞社等大手新聞社やビジネ

ス系媒体社など多数のメディアに取引口座を確保していることから、当社の金融情報サービスとのシナジーを創出することが可能であること、さらに当社の情報サービス事業の重要な事業である「企業調査レポート」を拡大することが可能であること、また、同社では、「メディア開発」「経営者ネットワーク事業の発足」「日中相互間コミュニケーション開発」を切り口に中国マーケットをターゲットとした事業を推し進めており、中でも「メディア開発」では、すでに訪日中国人観光客向けクーポン誌を5万部発行し、中国人ツーリストに利用実績があることなどから、当社グループの中国ネットワークを活用することによって新たな事業展開を生み出せるという潜在的な成長可能性をもっているなどの要素から、事業面でのシナジー効果が大きく見込めると判断し、本第三者割当てによる増資を引受けました。

今後は、当社グループ各社の経営資源を最大限に活用して、DACの事業サポートを強力に支援するとともに、DACを当社の広告戦略の基点としてシナジー効果を創出してまいります。なお、当社の新セグメントとして「広告代理業」を設置いたします。

## 2. 異動する子会社（株式会社ダイヤモンドエージェンシー）の概要

(1) 商 号	株式会社ダイヤモンドエージェンシー		
(2) 本 店 所 在 地	東京都港区新橋五丁目10番5号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 佐々木 弘		
(4) 事 業 内 容	広告、販売促進に伴う戦略立案、メディアバイイング、広告物企画・制作、ホームページ企画・制作・運営、市場・消費者調査等のサービスを提供する総合広告代理店		
(5) 資 本 金 の 額	200,000千円		
(6) 設 立 年 月 日	昭和37年4月2日		
(7) 大株主及び持株比率	株式会社カンボマリノ 90.00% 佐々木 弘 5.12% 森竹 聰 3.75%		
(8) 上場会社と当該会社との関係等	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	当社取締役3名が同社の取締役を兼務し、当社監査役1名が監査役を兼務いたします。	
	取 引 関 係	同社が発行する私募債総額3,000万円を引き受けておりました。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態	(単位：百万円)		
	平成22年／2月期	平成23年／2月期	平成24年／2月期
純 資 産	▲101	▲108	▲96
総 資 産	465	430	334
1株当たり純資産(円)	▲253.68	▲271.77	▲240.85
売 上 高	2,052	1,657	1,475
営 業 利 益	▲69	5	12
経 常 利 益	▲78	▲1	3
当 期 純 利 益	▲104	▲7	12
1株当たり当期純利益(円)	▲260.89	▲17.85	30.92
1株当たり配当金(円)	-	-	-

### 3. DAC の第三者割当増資の概要

(1) 払込期日	平成 24 年 9 月 7 日
(2) 発行新株式数	普通株式 7,500,000 株
(3) 発行価額	1 株当たり 4 円
(4) 調達資金の額	30,000,000 円
(5) 募集又は割当方法	第三者割当の方法
(6) 割当先及び割当株式数	株式会社フィスコ 7,500,000 株

### 4. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数 : 0 個) (所有割合 : 0.0%)
(2) 取得株式数	7,500,000 株 (議決権の数 : 7,500,000 個) (取得価額 : 30 百万円)
(3) 異動後の所有株式数	7,500,000 株 (議決権の数 : 7,500,000 個) (所有割合 : 94.9%)
(4) 取得価額の算定根拠	ディスクounテッド・キャッシュ・フロー法(DCF 法)に基づき当該会社の取得価額を 1 株 4 円と算定しました。

### 5. 日程

取締役会決議 平成 24 年 9 月 7 日  
 払込期日 平成 24 年 9 月 7 日  
 新事業開始日 平成 24 年 9 月 7 日

### 6. 今後の見通し

本件に伴い、当社の平成 24 年 12 月期における連結業績に与える影響は、現在精査中であります。今後、公表すべき事項が必要な場合は速やかに開示いたします。

以上